

(平成18年5月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>5月期の野菜の市況については、4月期に引き続き各産地ともに、低温・日照不足の影響を受け、生育の遅れが目立った。このような状況の中にあって、まさしく中央卸売市場の集散機能が発揮される結果となり、全体としては、前年同期を9%上回った。</p> <p>価格は、入荷増ながら、主要品目の業務需要の伸び等から、安値推移していた前年同期を9%上回った。</p> <p>品目別には、にんじん、白菜、キャベツ、レタス、トマト、ピーマンが、入荷増ながら単価高で推移した。ハウレンソウ、たまねぎ、ばれいしょは、前年を上回る入荷となり、価格は、前年を下回った。</p> <p>根菜類は、入荷が5%増加し、価格は29%高となった。 葉菜類は、入荷が11%増加し、価格は13%高となった。 果菜類は、入荷が4%減少し、価格は26%高となった。 土物類は、入荷が24%増加し、価格は16%安となった。</p>
果 実	<p>果実の入荷状況については、主力品目のメロン、スイカ等の作付面積の減少が入荷量の減少に大きく影響した。リンゴは、入荷増、柑橘類は、寒波の影響による品質の低下がみられたものの入荷量は増加した。果実全体としては、前年並みの入荷となった。</p> <p>価格は、前年並みの入荷であったにもかかわらず、安値で推移し、前年同期を4%下回った。</p> <p>柑橘類は、入荷が22%増加し、価格は12%安となった。 りんごは、入荷が24%増加し、価格は14%安となった。 イチゴは、入荷が9%減少し、価格は7%高となった。 メロンは、入荷が12%減少し、価格は10%高となった。 スイカは、入荷が18%減少し、価格は前年並みとなった。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
<p data-bbox="231 309 368 342">【根菜類】</p> <p data-bbox="220 353 319 387">長大根</p> <p data-bbox="220 645 319 678">洋人参</p>	<p data-bbox="513 353 1441 510">長崎，千葉，栃木，石川，福井を中心とする入荷。春先からの低温による天候不順により全般的に昨年より太りが悪かったものの，新たな産地の入荷等もあり全体としては，入荷量は前年並みであった。</p> <p data-bbox="513 521 1441 600">価格は，入荷増の状況ながら，単価安で推移していた前年同期を23%上回った。</p> <p data-bbox="513 645 1441 768">徳島，長崎，兵庫を中心とする入荷。天候不良による生育の遅れがあったものの，下旬以降順調な入荷となり，全体としては，入荷量は前年同期を15%上回った。</p> <p data-bbox="513 779 1441 857">価格は，入荷増の状況ながら，単価安で推移していた前年同期を50%上回った。</p>
<p data-bbox="231 929 368 963">【葉菜類】</p> <p data-bbox="220 974 351 1008">はくさい</p> <p data-bbox="220 1220 351 1254">キャベツ</p>	<p data-bbox="513 974 1441 1097">茨城，長野を中心に京都等の近郷産地からの入荷。各産地ともに上中旬は低温の影響を受け，生育遅れがあったが，下旬より順調な入荷となり，全体としては，前年同期を4%上回った。</p> <p data-bbox="513 1108 1441 1187">価格は，加工用，業務用，一般消費ともに荷動きが良好で，前年同期を73%上回った。</p> <p data-bbox="513 1220 1441 1377">神奈川，兵庫を中心に，和歌山，茨城からの入荷。各産地ともに低温の影響を受け，産地の生産量は減少しているが，中央市場の機能が生かされ順調な入荷となり，全体としては，前年同期を13%上回った。</p> <p data-bbox="513 1388 1441 1467">価格は，加工用，業務用，一般消費ともに荷動きが良好で，前年同期を6%上回った。</p>
<p data-bbox="220 1512 414 1545">ほうれんそう</p>	<p data-bbox="513 1512 1441 1635">京都，徳島，岐阜を中心とする入荷。各産地ともに低温の影響を受け先月までの生育の遅れが今月にずれ込み，全体として前年同期を26%上回った。</p> <p data-bbox="545 1646 1300 1680">価格は，入荷増を受けて，前年同期を6%下回った。</p>
<p data-bbox="220 1724 319 1758">レタス</p>	<p data-bbox="513 1724 1441 1848">兵庫，徳島を主力に長野からの入荷。低温の影響から遅れていた長野産の入荷が本格的に始まり，全体としては，前年同期を14%上回った。</p> <p data-bbox="513 1859 1441 1937">価格は，加工用，業務用ともに荷動きが良好で，量販店の特売需要もあって，前年同期を21%上回った。</p>

<p>【果菜類】 きゅうり</p>	<p>宮崎，高知を中心に徳島，愛媛，近郷産地からの入荷。各産地ともに上中旬は低温の影響を受け生育遅れ，後半に入荷が回復したものの，全体的には前年同期を13%下回った。 価格は，入荷減から前年同期を大きく79%上回った。</p>
<p>なす</p>	<p>高知，岡山を中心とする入荷。各産地ともに天候不良の影響から入荷が不安定ではあったが，全体的には前年並みのものであった。 価格は，近郷産地の出遅れ等から引き合いが強く，前年同期を23%上回った。</p>
<p>トマト</p>	<p>熊本，福岡の終期分と三重，奈良，北海道を中心とする入荷。前半は生育の遅れから不安定な入荷であったが，中下旬から順調な入荷となり，全体としては，前年同期を4%上回った。 価格は，上中旬が高値で推移したことから，結果的に前年同期を6%上回った。</p>
<p>ピーマン</p>	<p>宮崎，高知，茨城，大分を中心とする入荷。茨城，大分の後続産地を中心に入荷が不安定であったが，全体としては，前年同期を5%上回った。 価格は，夏秋産地の出遅れもあり，安値で推移した前年同期を39%上回った。</p>
<p>【土物類】 ばれいしょ (メーク含む)</p>	<p>長崎，熊本，鹿児島からの入荷。遅れていた鹿児島産の残量が多く順調な入荷となった。全体としては前年同期を8%上回った。 価格は，入荷増から高値推移であった前年同期を24%下回った。</p>
<p>たまねぎ</p>	<p>長崎，佐賀，兵庫を中心とする入荷。兵庫が本格的な入荷を向かえる中で，各産地もに大玉傾向であり，不作であった昨年を大きく上回る入荷となった。全体としては前年同期を47%上回った。 価格は，入荷増を受けて，前年同期を4%下回った。</p>

主要品目（果実）	市況の概況
甘夏柑	<p>和歌山，広島，愛媛，福岡，熊本からの入荷。12月からの寒波，雪害の被害により，各産地ともに入荷量は減少。前年同期を3%下回った。</p> <p>価格は，競合する品目の単価安もあり，また，小玉傾向であったことから，前年同期を19%下回った。</p>
ふじ （サン含む）	<p>青森からの入荷。在庫量は少ないものの，台風の被害を受けた昨年に比較して，入荷量は増加し，全体としては，前年同期を9%上回った。</p> <p>価格は，入荷増を受けて，前年同期を11%下回った。</p>
いちご	<p>福岡，大分，佐賀，愛媛を中心とする入荷。各産地ともに4番果の作柄が悪く，生産量が減少し，前年同期を9%下回った。</p> <p>価格は，入荷量の減少により，前年同期を7%上回った。</p>
アールス	<p>静岡，愛知，高知，熊本，宮崎を中心とする入荷。各産地ともに作付面積の減少に伴い出荷量が減少している。入荷量は，前年同期を11%下回った。</p> <p>価格は，入荷減に加えて，ギフト需要の伸びから，前年同期を10%上回った。</p>
すいか	<p>熊本を中心に千葉，愛知からの入荷。熊本産の作付面積の減少に加え，前月への前進出荷等もあり，入荷量は，前年同期を16%下回った。</p> <p>価格は，入荷減にあって，前年並みであった。</p>